



ダイヤモンド筑波

2月12日（火）

筑西市にある母子島遊水地では、毎年10月と2月の数日間、筑波山からの日の出が「ダイヤモンド筑波」と呼ばれる景色を見せます。早朝にも関わらず、大勢のカメラマンが県内外から訪れます。

本校の歌詞も「東に聳ゆる筑波嶺を 心の友と仰ぎつつ」で始まるように、筑波山が私たちを見守ってくれているように感じて、四季折々の姿を身近に感じています。

母子島（はこじま）遊水地とは

母子島遊水地は昭和61年の小貝川水害の後に整備された遊水地です。池の周囲には桜が植えられ、春には桜、また、筑波山をバックに「逆さ筑波」や水面に映える朝日、紅に染まる夕霞など変化に富んだ写真が撮れます。年に2回、筑波山山頂から太陽が昇る「ダイヤモンド筑波」を見ることができます。

ダイヤモンド筑波・・・筑波山頂から太陽が出る瞬間、まるでダイヤモンドが光り輝くような光彩が見える状態を言います。

ダブルダイヤモンド筑波・・・水面などにダイヤモンド筑波が映って二つ見える状態を言います。

筑西市観光協会のHPより

